

川島 早智さん

2015年度入学、2019年度卒業
京都産業大学 外国語学部事務室



大学時代は、東洋史ゼミに所属し、朝鮮史の分野で卒業論文の執筆に取り組みました。

在学中には、ゼミの先生の紹介で、韓国・ソウルにある漢城大学校への留学を経験しました。東洋史を学びたいと思い、京都府立大学に入学したので、自分の一番やりたいことができましたし、尊敬できる先生や気の合う仲間と出会えたおかげで、とても有意義な大学生活を送ることができました。

現在は、京都産業大学で事務職員として勤務しています。外国語学部事務室という部署に配属され、学生の履修に関するサポートや学籍業務、次年度に向けた開講の準備など、幅広い業務に携わっています。

外国史を専門的に学び、留学を経験したことで、学生時代に自国以外の歴史や文化に触れることの重要性を感じ、高等教育へ携わりたいと思うようになりました。歴史学科での経験が、今の職に結び付いたと感じています。

▼インタビュー

Q1.歴史学科のよいところは？



まずは**先生方との距離が近い**ところです。私は朝鮮史がご専門の井上先生に、ほぼマンツーマンのような形でご指導いただきました。研究室でもよくお話しさせていただいたり、授業時間以外でも韓国語の文献を読む練習をさせていただいたりと手厚いサポートを受けられたのは、少人数教育の京都府立大学ならではのことだと思います。卒業論文を書くときも一文一文丁寧に見てくださって、文章を書く力は社会に出ても必要なので、今でもとても役に立っていてありがたいです。一人一人の興味に真剣に寄り添ってくださる先生方の存在が、歴史学科の魅力だと思います。

気の合う仲間と出会えるのもいいところです。高校生までは周りに歴史好きはなかなかいませんでしたが、大学に入ると同じ温度感で話せる人たちがたくさんいて、自然と仲良くなれました。同級生はもちろん、今でも姉妹のように仲がいい先輩もいます。そういう人たちと出会えたのは歴史学科ならではの、この大学だからこそかなと感じています。京都府立大学の歴史学科は、日本・西洋・東洋の歴史を学べるので、様々な方面から歴史を学ぶ人がそろっていて、分野を越えて語り合うことができたことも、自分のモチベーションにつながっていました。この大学に入学できてよかったなと今でも心から思っています。

Q2.在学中にやっておいてよかったことは？



海外経験です。大学2年生のとき、先生からの紹介で韓国の漢城大学校で行われた2週間の語学・文化交流プログラムに参加しました。これが初めての海外経験で不安もありましたが、参加してみたらとても楽しく、日本以外の人との関わりの中で視野を広げることができました。韓国という非常に近い国でも、実際に行ってみると日本とはまったく違った印象を受けました。

4回生のときには、2年生で参加したプログラムと同じく、**韓国の漢城大学校へ半年間、語学留学**しました。韓国、中国に加えベトナムなど様々な国の人が集まり、韓国語を共通言語としてコミュニケーションをとりました。2週間のプログラムするときよりも様々な国の人との交流があり、さらに視野が広がりました。歴史学科で学ぶうえでも、実際に外国の人たちと触れ合ったり、その土地の空気を感じることは、とても大切です。韓国に行く前と後では、物事の捉え方も変わったと思います。チャンスがあれば、まずはどこでもいいので、外に飛び出してみたいです。

Q3.現在のご職業を選んだ理由は？



大学時代に留学などの経験を通じて、**学生時代に日本以外の人や物事に触れることの大切さ**を感じました。大学職員という職業を選んだ理由は、大学に日本以外のことに触れる環境や教育があることの必要性を感じ、自分もそのような環境や教育を提供する立場として携わりたいと思ったからです。どんなことにも挑戦できる、様々な可能性のある高等教育に興味を持ち、今の職業を選びました。京都産業大学を選んだ理由は、京都産業大学の教学の理念が、私が考えていた高等教育の在り方と結びついたからです。

Q4.ご職業のやりがいは？



私は直接教育を施す側ではないですが、例えば、授業準備をしたり、ゼミの配属の準備をしたり、少しでも学生の**大学生活に関わっている**など感じるとき、大学で働いていてよかったなと思います。今は外国語学部事務室にいますので、外国語学部の魅力や、学部をもっと良くしていくにはどうしたらいいかなど、色々考えることも多く、それも楽しいです。大学で働いていると、学問が身近にあるので、自然と知的好奇心が高まりますし、一般企業では味わえないような楽しさがあります。そこも大学で働いていてよかったなと思う点です。



▲京都産業大学附属高校にてガイダンス

Q5.留学を考えている人に アドバイスをお願いします！



歴史学科から留学するケースはまだ少ないのかなと思います。ですが、勇気を出して留学してみると新しい価値観の発見がありました。私は留学を経て、多角的に物事を捉えられるようになりました。外国史を学ぶうえでも、実際にその土地で過ごしたことで、より深い理解につながったと思っています。また、この力は卒業論文執筆だけでなく、社会人にも求められるものだと思います。

少しでも迷いがある人は、ぜひ勇気を出して留学に行ってほしいと思います。留学に限らず、**やりたいと思ったことは行動に移す**のがとても自分の力になります。きっかけは何でもいいので、自由な時間がある大学生のうちに、やりたいことをたくさんしてください！



▲韓国留学